

農業で自分らしい暮らしを実現

2年前から農業に取り組んでいる高さん夫妻に、就農のきっかけや農業の魅力について話を聞きました。

農業、やってみませんか？ 就農までの道筋

農業を始めるには、一般的に約1～3年の準備期間が必要です。

1 まずは体験してみよう「農業サポーター」

市内の農家で農作業などのボランティアを受け入れています。園芸や野菜作りを学びたい、農家の生の声を聞いてみたいという人はぜひ参加してみてください。

☎食と花の推進課(☎025-226-1844)

2 興味を持ったら相談・情報収集

市では研修先や補助制度などの相談、情報提供を行っています。就農のイメージを膨らませましょう。

☎アグリパーク(南区東笠巻新田☎025-378-3109)
区役所農政担当課(東・中央区は江南区役所産業振興課)

■農業体験研修

県内の受け入れ農家で農業体験や技術習得のための研修を実施しています。

☎県新規就農相談センター(中央区新光町☎025-281-3480)

3 就農の意志を決定

農業で生計を立てる意志を固め、就農の形態(自営または農業法人などへの就職)を決めましょう。家庭内でもよく話し合い、家族の理解を得ることも大切です。

自営就農

雇用就農

4 事前準備

区役所や農業委員会、JAなどと相談しながら進めます。

- ・就農地の選定
- ・住居の確保
- ・自己資金の準備
- ほか

5 就農計画の作成

計画が認定されると、国・県・市からの補助金や無利子貸し付けなどの申請ができます。

- ・栽培する作物、方法、規模
- ・目指す農業所得、収支計画
- ・必要な施設
- ほか

6 農地の確保、施設・機械の取得

農地の取得や借り入れには農業委員会での手続きが必要です。

就農(営農開始)



県就農ポータルサイト
「就農にいがた・スタートナビ」



高 英樹さん・麻子さん(北区在住)

きっかけは「健康的な生活」

就農前は飲食店を経営していた高さん夫妻。「昼夜逆転の仕事でストレスが多く、健康的な生活をしたい」と思っていた「麻子さん」。休日に趣味を兼ねて店で出す野菜を育てているうちに「農業を仕事にしたい」と考えるようになり、3年前に転職を決意。区役所やJA、県農業普及指導センターなどのサポートを受けて就農準備を進め、平成30年から北区笹山の畑約60アールを借りて野菜の作付けを始めました。

自分が頑張った分結果が出る

現在はナスと長ネギを中心に、小松菜やサツマイモなどを栽培しています。「最初は全てが手探りで、特に技術的な面では不安がありました」(英樹さん)。分からないことはJAや周りの先輩農家に聞きながら農作業に取り組み、徐々に経験を積み、知識を増やしてきました。

収穫した野菜はJAや直売所、スーパーマーケットに出荷しています。「農業は自分が頑張った分が結果に表れやすいと感じます。お店の人から良い評判を

聞き、「また持ってきて」と言ってもらえるのが励みになります」(麻子さん)。

お世話になった人に恩返しを

当面は農業経営を安定させるのが目標だという高さん夫妻。「JAの部会で情報収集したり自分でも勉強したりして、栽培技術を確立させたいです。お世話になっている皆さんに恩返しできるようにになりたい」(英樹さん)。「夏の収穫時期などは忙しくて大変なこともあります。太陽の下で自分らしい暮らしができています。冬の農閑期に二人で温泉に行くのが楽しみです」(麻子さん)。お二人もすてきな笑顔で語ってくれました。



ナスや長ネギなど複数品目の野菜を栽培し、年間を通じて出荷